

第3回日本禁煙学会学術総会

大会宣言

NPO法人日本禁煙学会は、第3回日本禁煙学会学術総会開催にあたり、タバコの無い世界の実現のため、そして、我が国における受動喫煙を含めたタバコによる健康被害をなくするため、以下に述べる国への要望の実現を目指し、学会一団となって行動することをここに宣言する。

一、がん対策とメタボリック症候群対策の要は禁煙であり、これら生活習慣病対策の最優先事項は禁煙である。国は、禁煙推進を喫緊の課題として進めることを要望する。

一、我が国の喫煙者は約3千万人弱であり、非喫煙者は約1億人である。この子どもを含めた約1億人の非喫煙者を受動喫煙の害から守るために、国は、たばこ規制枠組み条約(FCTC)と健康増進法を遵守し、公共的施設における敷地内禁煙を早急に完全実施するよう要望する。

一、現在、未成年者、とりわけ女性における喫煙状況が悪化しており、早急に未成年者の喫煙防止対策を講じる必要がある。国は、その対策として、タスポの普及ではなく、タバコ自動販売機を廃止し、合わせてタバコ税の大幅値上げを実施するよう要望する。

平成20年8月10日

広島市中区中島町1-5
広島国際会議場 に於いて

NPO法人 日本禁煙学会
理事長 作田 学
第3回 日本禁煙学会学術総会
会長 碓井 静照